

## 山から教わるエコロジーライフ

- 1 自治体名 南砺市
- 2 発表者名 上平中学校
- 3 活動名 学校林の下草刈り・ナラ植樹、炭窯づくり
- 4 活動期間 1949年から現在まで
- 5 活動場所 上平地区内（学校林、桂湖周辺）
- 6 活動参加人数 2005年度は生徒27名、および保護者教職員
- 7 活動を始めた経緯 1949年より、上平村（現在は南砺市）発展のために植林をはじめた。その伝統を受け継ぎ、現在も毎年学校林の下草刈り・植樹を行っている。

### 8 発表要旨

#### ①上平地域、上平中学校の紹介

#### ②活動の歴史・背景、2005年度活動の紹介

##### ア：下草刈り・植樹

- ・本校には1949年から、生徒の手で植林された学校林があり、以降毎年その下草刈りを行ってきた。
- ・2005年度も保護者や教師の協力を得ながら、全校生徒27名が下草刈りを行った。
- ・その際、地域の森林組合の方から森の役割や自然を保全することの大切さを学んだ。
- ・また、昨年は森の環境変化により山が荒れ、クマが人家近くに多く出没する事件が日本各地、県内で起こった。上平地区でもクマが出没した。クマとの共生、自然保護のため、そのエサとなるナラ木の植樹を行った。

##### イ：炭窯づくり

- ・木材を炭窯で焼き、木炭にしてエネルギー活用する炭焼きは、山での主要な産業だった。
- ・上平地域もかつては炭焼きが盛んであったが、電気やガスの普及とともにだんだん廃れていった。
- ・2005年度、総合的学習の時間に、「山に生きる」のテーマで、地域の方々の協力を頂いて炭窯づくりに挑戦した。とても難しい作業だったが、先人の知恵を学ぶことができた。

#### ③まとめ